

CASIO®

P

5158 * JA

取扱説明書

保証書付

5158

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

※本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる
描写を行っているものがあります。ご了承ください。

●アラーム	8
●ストップウォッチ	10
●デュアルタイム	11
●時刻の合わせ方	13
●カレンダーの合わせ方	15

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意	1
操作のしくみと表示の見方	6
ライト点灯について	7
ライトを点灯させる	7
アラームの使い方	8
アラーム時刻のセット	8
アラームの ON / OFF 設定	9
ストップウォッチの使い方	10
計測のしかた	10
デュアルタイムの使い方	11
デュアルタイムのセット	11
秒の合わせ方	12
時刻の合わせ方	13
アナログ（針）部の合わせ方	14
カレンダーの合わせ方	15

製品仕様	17
ご使用上の注意	18
お手入れについて	21
電池交換について	22
金属バンドの駒詰めについて	22

操作のしくみと表示の見方

●◎ ボタンを押すごとに、以下の順でデジタル部のモードが切り替わります。

カレンダーモード

デジタル部

アナログ部

月 日 曜日

<曜日の見方>
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水
TH:木 FR:金 SA:土

時刻モード

午後マーク
(午前は消灯)

時 分 秒

デュアルタイムモード

現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできます。

モードインジケータ
デュアルタイム

P-11

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ライトを点灯させる

どのモード（セット中を除く）のときでも、

① ボタンを押します

➡ ① ボタンを押すと約 2 秒間ライトが点灯します。



〈ライト点灯についてのご注意〉

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

アラームモード



アラーム時刻のセットや ON/OFF の設定ができます。

モード インジケータ
時刻

P-8



ストップウォッチモード



23 時間 59 分 59 秒まで計測できます。

モードインジケータ
計測値

P-10

アラームの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、設定した時刻になると
20 秒間の電子音が鳴ります。

- アラームはデジタル時刻で作動します。

■ アラーム時刻のセット

1. 「時」のセット

アラームモードのとき、

◎ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒ 「時」が点滅します。

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

- ※ ◎ ボタンを押し続けると早送りができます。
- ※ 午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
- ※ 時刻モードの時刻を 24 時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も 24 時間制表示になります。



2. 「分」のセット

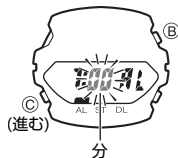
◎ ボタンを押します

⇒ 「分」が点滅します。

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

- ※ ◎ ボタンを押し続けると早送りができます。



3. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

- ※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラームの ON / OFF 設定

アラームモードのとき、

ⓑ ボタンを押します

⇒ ⓑ ボタンを押すごとに、アラームのオンとオフが切り替わります。

<オンのとき>



<オフのとき>



● モニターアラーム

どのモードのときでも、Ⓒ ボタンを押し続けると、押し続けている間電子音が鳴ります。

● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウォッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

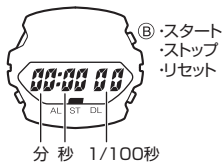
ストップウォッチは 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測でき、以後自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

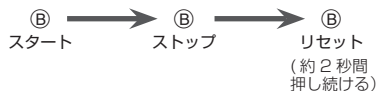
→ ◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。



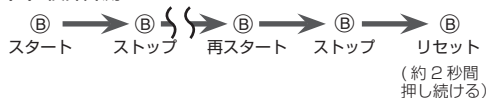
※ ◎ ボタンを約 2 秒間押し続けると、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

計測値が 1 時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1 秒単位で計測を行います。

(1) 通常計測



(2) 積算計測



デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」はデジタル時刻の「秒」に連動しています。

※デジタル時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■デュアルタイムのセット

1. 「時」のセット

デュアルタイムモードのとき、

Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「時」が点滅します。

Ⓒ ボタンを押します

⇒Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

※ Ⓒ ボタンを押し続けると早送りができます。



6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

2. 「分」のセット

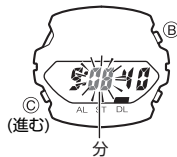
Ⓑ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。

Ⓒ ボタンを押します

⇒Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

※ Ⓒ ボタンを押し続けると早送りができます。



3. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

秒の合わせ方 30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらい秒合わせをしていただくと、時計はいつも正確です。

1. 時刻モードのとき、

Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。



2. 時報に合わせて、

Ⓒ ボタンを押します

⇒00秒からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって、00秒からスタートします。

3. 秒セット後は、

Ⓑ ボタンを4回押します

⇒点滅が止まります。

- 秒（時刻）セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、時刻モードに戻ります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

時刻の合わせ方

電池交換後などで時刻が合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. 時刻モードのとき、

Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けます

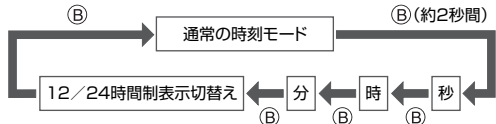
→「秒」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶには、

Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓑ ボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が以下の順に移動します。

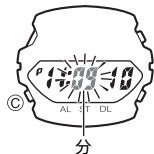


3. 点滅箇所のセットは、

Ⓒ ボタンを押します

→ Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

※ Ⓒ ボタンを押し続けると早送りができます。



Ⓑ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓒ ボタンで表示をセットする操作を繰り返し行い、時刻を合わせてください。

※「時」のセットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

※12/24時間制表示切替えは、Ⓒ ボタンを押すごとに切り替わります。

4. セット後、点滅を止めるには、

12/24時間制表示切替え画面で、Ⓑ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

アナログ（針）部の合わせ方

どのモードのときでも、

Ⓐ ボタンを押します

→ Ⓐ ボタンを押すごとに 1/3 分（20 秒）ずつ進みますので、合わせたい時刻を表示させます。

※ 押し続けると早送りします。

※ 分針はデジタル時刻の秒が 00 秒、20 秒、40 秒になったときに 1/3 分（20 秒）ずつ進みます。



カレンダーの合わせ方

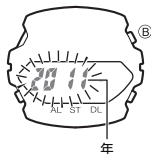
電池交換後などでカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

1. カレンダーモードのとき、

Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けます

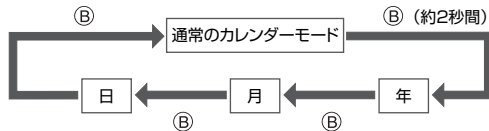
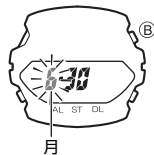
⇒「年」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶには、

Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓑ ボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が以下の順に移動します。



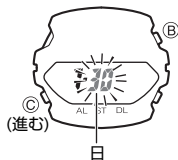
- ※ 「年」は2000年～2099年までセットできます。
- ※ 曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

3. 点滅箇所のセットは、

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

※ ◎ ボタンを押し続けると早送りができます。



◎ ボタンでセットしたい箇所を選び、◎ ボタンで表示をセットする操作を繰り返し行い、カレンダーを合わせてください。

4. セット後、点滅を止めるには、

「日」のセット画面で、◎ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±15秒以内

基本機能：アナログ部 時・分
デジタル部
時刻表示=時・分・秒・午前/午後 (P) /
24 時間制表示
カレンダー表示=月・日・曜日、
フルオートカレンダー
(2000 ~ 2099)

アラーム機能：時刻アラーム
セット単位=分 電子音= 20 秒間

ストップウォッチ機能：計測単位= 1/100 秒 (1 時間以上は 1 秒)
計測範囲= 23 時間 59 分 59 秒
(24 時間計)
計測機能=通常計測、積算計測

デュアルタイム機能：表示内容=時・分・秒

セット機能：時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能 (± 30 秒アジャスト)、
アラームセット機能、デュアルタイムセット
機能

その他：自動復帰機能、モニターアラーム、
12/24 時間制表示切替え、
EL (エレクトロルミネッセンス) バックラ
イト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ CMOS-LSI

使用電池：CR2016 1 個 (電池別途販売)

電池寿命：約 3 年

(ライト 2 秒間/日、電子音 20 秒間/日
使用した場合)
● ライトを頻繁に使用すると、電池の持続
時間が短くなります。

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
		5BAR	10BAR	20BAR	
使用例	洗顔、雨	○	○	○	
	水仕事、水泳	×	○	○	
	ウインドサーフィン	×	×	○	
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバックシン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換(有償)をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- （JIS 1種耐磁時計）日常生活において、磁界を発生する機器に5cmまで近づけても性能を維持できる水準となっていますが、強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する機器に密着、あるいは近づけることはお避けください。針を動かすモーターへ影響を与えることにより針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因になります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノロジーピアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノロジーセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。